

オーステナイト^{こう}鋼

■ 用語解説 ■

オーステナイトは鉄鋼組織のひとつで、鉄が910～1400℃で結晶形が変化し、立方最密構造となった γ (ガンマ) 鉄に、炭素が溶け込んだもので、オーステナイト系SUSは極めて優れた耐食性がある。名は英国の鉄鋼学者オースティンW. C. R Austeinにちなむ。ステンレスのオーステナイト系には、家庭用品として多く使用されているSUS304がある。オーステナイト系ステンレス鋼は結晶構造から、冷却過程のひずみで凝固割れを起こしやすい特長がある。